

今 後 の 予 定

4 月	
21 日(火)	登校日 (高校 3 年生)
22 日(水)	登校日 (高校 2 年生)
23 日(木)	登校日 (高校 1 年生)
27 日(月)	登校日 (高校 3 年生)
28 日(火)	登校日 (高校 2 年生)
30 日(木)	登校日 (高校 1 年生)
5 月	
3 日(日)	憲法記念日
4 日(月)	みどりの日
5 日(火)	こどもの日
6 日(水)	振替休日
7 日(木)	授業再開予定
※予定は変更になる場合があります。	



学校長式辞

4月9日に、令和2年度第60回文徳高等学校入学式を挙行了しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、保護者の入場は一名に限定し、参加者は全員マスク着用のうえ、充分な換気と生徒同士の座席の間隔を開けるなどの万全を期して実施しました。厳かな雰囲気の中、入学を許可された400名は、真新しい制服に身を包み、やや緊張した面持ちで式典に臨みました。

まずは竹下文則学校長より式辞がありました。学校長式辞は全文を紙面下に掲載していますので、ご覧ください。

次に中山理事長の祝辞では、「文徳高校は体・徳・知の調和のとれた人材の育成を目指しています。皆さんには、ぜひ自立を目標とした高校生活を送ってほしいと思います。課題を見つけ、自ら考え判断する力を身に付け、へと成長を遂げてください。」と、励ましの言葉が贈られました。

続いて、来賓祝辞では文徳学会長の池邊様より祝辞が述べられ、祝辞祝電披露の後、新入生を代表して山部さん（JSS 熊大附属中）が、「新型コロナの蔓延で世界中が混乱する中、私たちの生活も大きな影響を受けました。私たちは、先生方や仲間と過ごす中学最後のかけがえのない時間を奪われてしまいましたが、今この瞬間を迎えられることに大きな喜びを感じています。何事も当たり前のことはないと、この肝に銘じつつ、後悔のないよう新しい仲間たちと切磋琢磨していくことを誓います。」と宣誓を行いました。

「今この瞬間を
迎えられることに喜び」

第60回入学式



熊本市西区池田 4-22-2
文徳高等学校広報部発行
TEL096-354-6416
FAX096-359-2373



理事長祝辞

世間の混乱をよそに、別世界のような桜の舞い散る穏やかな春の陽気に包まれた、令和最初の入学式でした。



新入生宣誓 山部さん

式後、新入生保護者を代表して今村様よりご挨拶があり、その後1学年担任団の紹介がありました。そして、本田1学年主任から「コロナの影響によるピンチをチャンスと捉えて、精一杯前進して行くことをお約束します。」と挨拶がありました。

式辞
爽やかな春風に包まれ、春爛漫の、今日の佳き日に、文徳会会長、池邊皇綺様のご臨席を賜り、また保護者の皆様のご参列を得まして、令和2年度文徳学園文徳高等学校入学式を挙行できますことは、本校職員並びに関係者一同、このうえない喜びであり、心から感謝を申し上げます。入学式を行うことは、当たり前のことのように思っておりましたが、本当にありがたいことであると改めて思っております。

ただ今、入学を許可しました中高一貫コースを含めた四百名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。晴れて本校への入学を果たされた皆さんを、職員、在校生一同、心から祝福し、歓迎します。

私たち職員は、皆さんが卒業する時に、本校を選んだことを誇りに思えるよう、精一杯、努力します。一緒にがんばりましょう。

また、皆さん自身の感激はもちろんのこと、これまで皆さんを支え、励ましてこられた保護者の皆様も、さぞかしお喜びのことと推察申し上げます。

さて、本校は、昭和三十六年に創立され、今年で六十年目、また、校名を文徳高等学校と改称して二十五年目を迎えました。校名である文徳の「文」は「学問」、「徳」は「真つ直ぐな心」という意味があります。また、本校の校歌の一節には「英知を磨いてたゆまず励む」真理を求めてひたすら進む「未来を見つめて 日本を興す」と謳われています。いずれも、本校生のあるべき姿を示しており、高い志を掲げ、世界を視野に、広く社会に貢献する人材への成長を願ったものです。私たち教職員は、「叶えます貴方の夢。鍛えます体・徳・智」を合い言葉にして、『行学併進・師弟一如』の伝統の下、皆さんの頑張りを全力で応援していきます。

員は、「叶えます貴方の夢。鍛えます体・徳・智」を合い言葉にして、『行学併進・師弟一如』の伝統の下、皆さんの頑張りを全力で応援していきます。

つぎに、高校生活のスタートにあたり、新入生の皆さんに、二つの希望を述べ、歓迎のことばとしたいと思います。

一つ目は、「志を高くして可能性に挑戦する」ということです。本校へ入学された皆さんは、本校入学がゴールではなく、これからの人生におけるスタートラインにすぎません。高校生生活は、長い人生の中にあつて、ほんのわずかな時間ですが、最も多感で、生命力に溢れ、人生を左右するような貴重な時期です。皆さんは、本校での生活において、自らに存在意義を問い、生き方を求め、将来、社会において果たすべき使命を自覚し、志を高くして計画的な日々を送らなければなりません。

学校が自分のために何をしてくれるかではなく、「今、自分は何をしなくてはならないのか、自分にできることは何か」を考え、主体的に行動しなければならぬのです。今に満足せず、各自の良さを発見し、可能性を拓ける挑戦を続けてください。これからの決意と努力によって、自らの将来をいかようにも変えることができ、秘めた可能性を開花させるチャンスの時です。これからの三年間、失敗を恐れず、志を高くして各自の可能性に挑戦し続け、自分の道を見出だしてください

二つ目は、「自ら求めて学ぶ」ということです。

学びにおいては、謙虚さと真摯な態度が求められますが、漫然と授業を受けていてもその成熟はなされません。何事にも問題意識を持って、積極的に問いかけていくことが大切です。受け身の授業ではなく、なぜそうなのか、常に自問自答しながら、知識を磨き、学ぶ心を育み、「自ら求めて学ぶ」積極性を身に付けてほしいと思います。そうすることで、情熱を持って希望を語りかける教師と、

積極的に自ら求めて学ぼうとする皆さんが響き合い、相乗効果が発揮され、互いを一層高めていくことになると思います。

これから、いつも順調で上手く行くわけではなく、悩むことも多いと思います。マッシュ・サイドの著書「失敗の科学」では、「個人でも組織でも、失敗に真正面から取り組み成長できるが、逃げれば何も学べない。失敗から学べる人と学べない人の違いは、突き詰めて言えば、失敗の受け止め方の違いだ。成長型マインドセットの人は、失敗を自分の力を伸ばす上で欠かせないものとしてごく自然に受け止めている」と述べています。大事なことは、失敗に学び、前向きに、今できることを考え、小さな改善を積み重ねることであり、更にそれをやり続ける「やり抜く力」が求められています。

皆さん一人一人が、これからの本校での活動を通して、やり抜く力を身につけ、自分の適性や能力に気づき、自分を磨き、豊かな心と逞しく「生きる力」を持った、将来の社会を担う若者として成長してくれることを期待しています。

保護者の皆様におかれましては、お子様の御入学、誠にありがとうございます。私ども職員一同、皆様のご期待に添うべく、お子様の教育に全力を尽くす所存です。どうか本校教育活動の充実のため、学校の教育方針を御理解いただき、一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、ご来賓の文徳会会長 池邊様には、御多用の所、ご臨席を賜りましたことを改めてお礼を申し上げます。今後とも、本校の更なる発展のために、御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

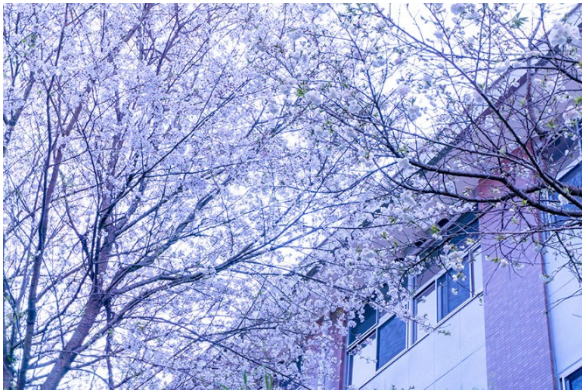
新入生の皆さんのこれからの一層の活躍を祈念し、式辞いたします。

令和二年四月九日
文徳学園 文徳高等学校
校長 竹下 文則

ご家庭からの返信欄 文徳点描 580 号～581 号 締切 5/8 (金) ご家庭での生徒の様子や文徳点描の感想など自由にご記入下さい。

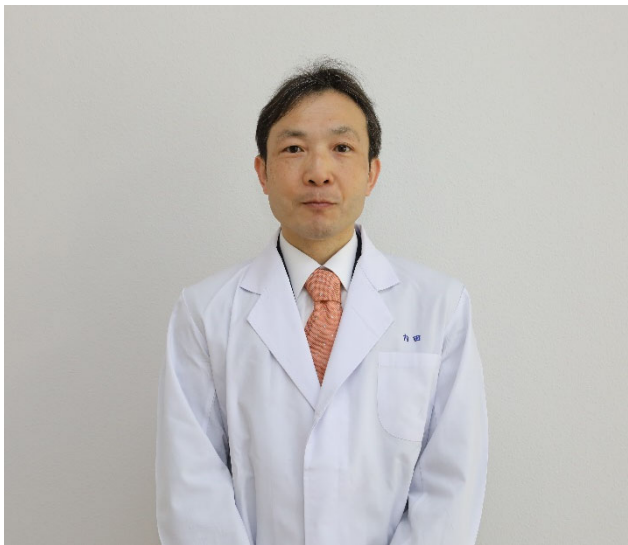
新任式・始業式

4月8日に新任式ならびに令和2年度始業式を実施しました。職員・生徒全員がマスクを着用し、十分に間隔を開けた状態で式を執り行いました。今年度は新たに6名の先生方をお迎えし、新任の先生方を代表して、竹下校長先生より挨拶がありました。新任の先生方については、以下の紙面で写真を掲載しています。生徒の皆さんは早く顔を覚えて、共に充実した学校生活にしましょう。



崇城大学通信 No.102

「加熱式タバコは安全」という科学的根拠はない！
～タバコが健康に与える影響～



薬学部 薬学科
内田 友二 (うちだ ゆうじ) 教授

「タバコは体に悪い」と言いますが、どんな健康被害があるのか知っていますか？タバコには喫煙者の体に入る主流煙と、タバコの先から外に向けて出る副流煙があり、それらの煙には病気や死につながる有害物質が多く含まれています。能動喫煙に限らず、副流煙を吸ってしまう受動喫煙も国内死因1位のがんや脳卒中との因果関係が証明されており、国内での喫煙による年間死亡者数は能動喫煙で約12～13万人、受動喫煙では約1万5千人にのぼります。(引用：厚生労働省「喫煙と健康 喫煙と健康影響に関する検討会報告書」)最近では、従来のタバコよりも健康被害が少ないと考えられている加熱式タバコの利用者が急増していますが、現段階では健康への影響は十分解明されていません。そこで私は、加熱式タバコを解析し、健康にどのような影響を与えるかを研究しています。これまでの実験で、加熱式タバコも従来のタバコ同様の有害物質を生成することが分かっており、健康被害が少ないとはいえません。病気の要因を解明し、人々の健康維持に貢献します！

なげよう。また、私の好きな言葉は『凡事徹底』『相乗効果』である。特に、挨拶と掃除を徹底し、お互いに高め合いながら心を育もう。』と話がありました。

生活信条唱和・校歌斉唱については、飛沫の防止と時間短縮のために省略しました。新任式の開始から始業式の終了まで、15分という短い時間で終了することができました。

式後には職員紹介を行い、管理職と新2・3年生の担任、副担任が発表されました。例年であれば、担任紹介の時には生徒が一斉に歓声を上げるなどして、大変にぎわう時間となるのですが、生徒たちはじっと我慢して発表を聞いていました。

式後は、旧クラスでいったんホームルームを行った後、新クラスへ移動してホームルームを実施し、お昼前の放課となりました。



荒木 隆久先生(英語) 好きな言葉：一生懸命

ご家庭より

2年 普通科

早いもので2年生。初めての電車通学や学校生活、部活動にも慣れ、高校生活を少しずつ楽しめるようになった矢先、新型コロナウイルス感染症予防のための休校が続いています。新学年となり新たな気持ちで学習に部活にチャレンジしようとする気持ちをもち続けてほしいと願っています。家庭での生活は、学習時間の確保が充分にできていない状況です。口をすっぱくして「計画的に」と伝えているのですが、なかなか難しいところです。ただ、毎日の夕飯づくりはすすんでやってくれるので助かっています。

息子の料理のレパートリーが増えたのは、思わぬ収穫でした。興味を持つて取り組むことは意欲につながること、息子から学びました。日々の学習にも興味を持つてくれればと願うばかりです。



竹下 昇志先生(化学) 好きな言葉：誠実

3年 普通科

年明けからの新型コロナウイルスの出現であつという間に想像もなかった事態となり、例年なら高校生は進級、進学、就職で新たな生活に向け期待で胸を膨らませている時期ですが、残念ながら今年は様子が一变しています。熊本県民は4年前に熊本地震を経験し、日常の中で「不測の事態」が起こることを身をもって経験していますが、今回、同様の事態が世界中で起きていると想像するとやりきれない気持ちになります。専門家の解説も十人十色で、この先の状況がどうなるのか見通せませんが、ティーンエイジャーの皆さんには、社会の一員として、個々人がまずは感染しない、させないという自覚をもつことと、どんな環境にあっても未来に希望をもつということを守ってほしいです。



岩本 真由香先生(生物) 好きな言葉：一期一会

文徳高校ホームページ・連絡メールのご案内

本校では大型連休明けの5月7日を授業再開日としております。また、各教科から課題を用意し、学年を分散しての登校日を週に一度設ける形で、休校期間中の学習を補っています。授業再開や登校日に関して変更がある際には、文徳連絡メールを利用して一斉送信を行っております。

新入生の保護者様で登録がお済みでない場合には、すぐにご登録ください。連絡メールの登録方法が分からないという方には、ご案内のプリントをお渡ししますので、登校日等にお子様を通じてお問い合わせください。

2、3年生の保護者様も新年度を迎えて学年の変更を登録してもらわなければなりません。文徳点描2月号や3月30日の連絡メールでもお知らせしているのですが、重要な連絡が増えていますので再度ご案内いたします。

また、メールと同様の連絡を本校ホームページ上でも行っております。休校や登校日の案内に加えて、奨学金の案内等、休校期間中の学校からの連絡を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



前田 眞澄先生(地理)



文徳高校ホームページ
文徳ing (学校ブログ)
お知らせ・部活動ブログ
最新情報更新中！

編集後記

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、二カ月を超える休校という前代未聞の事態となりました。日々、明日がどうなるかわからない状況の中、生徒たち、保護者の皆様も大変なご不安の中にあるかと思ひます。

新入生の保護者の皆様、文徳高校では広報部から毎月20日前後にこの「文徳点描」を発行しております。1面に「ご家庭からの返信欄」を設けておりますので、文徳点描をお読みいただいてのご感想、お子様の様子など何でも結構です。お忙しい折には一言でも構いません。ご家庭に届いているかの確認の意味もございいますので、全員の返信をお願いします。また、いただいた返信の中から翌月の紙面に掲載させていただきます。場合がありますので、あらかじめご了承ください。学校での生徒たちの活躍を知っていただきたいという思いで毎号作っております。ご家庭で学校の話をするきっかけづくりなどに利用していただくと幸いです。どうぞ3年間よろしくお願ひします。

2、3年生の保護者の皆様、今月から紙面を大幅リニューアルしましたが、スタッフは昨年度と同様です。昨年度は毎月たくさん保護者の声をお寄せいただきました。ありがとうございます。今年度もよろしくお願ひします。

広報部



八田 豊先生(工業) 好きな言葉：一生一書生

裏面がご家庭からの返信欄です